



ジョン・レノン
マイルス・デイビス
アンリ・ラングロア
アンティ・ウオホール
リチャード・フォアマン
ロベルト・ロッセリーニ
オノ・ヨーコと娘京子
ホリス・フランプトン
ハンス・リヒター

ケネス・アンガー
ナムジュン・パイク
ジャッキー・Bキャロライン・ケネディ
ジョージ・マチューナス
ピーター・クーベルカ
P.アダムズ・シトニー
ジョージ・シーガル
映画作家、フルクサスのメンバーたち
16年にわたる人類学的スケッチ。

HE STANDS IN A DESERT COUNTING THE SECONDS OF HIS LIFE

時を数えて、 砂漠に立つ

ジョナス・メカス作品

カラー・2時間30分
1985年制作(1969年-84年撮影)

HE STANDS IN A DESERT COUNTING THE SECONDS OF HIS LIFE

時を数えて、

●百年後のリュミエール兄弟に捧げた作品でも、これはリュミエールのひとつは、実際にフラッシュのラ・シオタ駅を撮っていますしね。リュミエールの作品は短いスケッチですから、もし二時間リュミエールの作品を上映しようとするれば、百余りのスケッチを見ることにならざるでしょう。私の新作は、したがって百年後のリュミエールと呼べるかもしれません。

——ジョナス・メカス



ジョナス・メカス作品

カラー・2時間30分

1985年制作(1969年-84年撮影)

カメラを持った時代の日撃者——ジョナス・メカスの35年にわたる膨大な映画日記の、これは第三部、待望の最新作である。

撮影期間は1969年から84年、ニューヨークを中心に、揺れ動くアートシーンの只中にカメラを据えた、125のスケッチによる生々しい記録である。

● 60年代そのものを一人の人格として代表したジョン・レノン、大量生産の時代に生きるアーティストの在りかたを象徴するアンディ・ウォーホル、埋葬される父親に別れの敬礼をする後ろ姿で、個人の悲劇を全世界と分かちあったジョン・F・ケネディ・ジュニア。様々な意味で現代の伝説となった彼らも、メカスの映像のなかでは一人のあたりまえの人間にすぎない。有名人としての彼らが決して人には見せることのない、生の人間に私たちは出会うことができる。

● ウィットニー美術館での最初の大規模なウォーホル回顧展。ともに、映画の上映運動に情熱を燃やしたラングロアとの出会い。フルクサス運動末期の姿——ハドソン河の船旅に



参加した層々たるメンバーの芸術家たちのピクニック、フルクサスの欧州における最後の回顧展で公衆電話を使った有名なストリート・パフォーマンス。フリースクールで歌うギンズバーグ。不運な運命にあったオノ・ヨーコの娘京子——1971年7才、失踪直前の肖像。死の3ヶ月前に行なわれたジョージ・マチューナスの『世紀のパフォーマンス』(着せ替え結婚式)。多くの人々に愛された映像作家ホリス・フランプトンとの別れ。死と新しい生命の誕生……

● 原題は「人生の時を数えて、砂漠に立つ」、そして映画のラストにはEND代わりに「人生の時を数えて、砂漠に立っていた」。

● 「フルクサス」とは?——60年代の始め頃から起こった、ハプニングやイベントなどの「行為」を表現形式とするグループ。当初はジョージ・マチューナスやオノ・ヨーコなど数人が中心的なメンバー。まもなく、この映画にも登場する第一線で活躍中の多くの音楽家、美術家、映像作家が加わり、文字通り60年代先鋭アートの核心となった。

5月1日(木)よりロードショー

(但し月・火は休映) ※5月5日(祭・月)は上映
(当日=1,400円、会員=1,200円) ●入替制

月・火	休映
水→日	1:00/4:00/7:00

イメージ・フォーラム
上映400回
記念プログラム

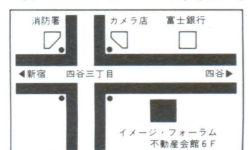
前売券発売中! 1,200円

●都内プレイガイド、チケットぴあ、チケットセゾンで取扱い。

IMAGE FORUM

(地下鉄丸の内線・四谷三丁目駅前)

TEL.03-358-1983



地下鉄・丸の内線・四谷三丁目駅前